

令和6年度 学校評価

■ そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思わない
 ■ そう思わない
 ■ わからない

(1) 主体的に考え行動する力を育む教育の推進		考察																																															
1 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進 学校は、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実に努めていると思いますか。 (感動・感謝、郷土愛、いのちを大切に作る心、こどもの体力向上、基本的な生活習慣など)	2 自ら学びに向かう力を育む教育の推進 学校は、こどもが自分で考え、自分から取り組む授業づくりに取り組んでいると思いますか。	「1 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進」 保護者、生徒、教職員の87%以上が肯定的意見を示した。本校の努力目標である「礼節を重んじ、他と協調する心豊かな生徒を育成する」ことをさらに推進していくために、道徳教育や体育、部活動の取組を充実させる必要がある。 「2 自ら学びに向かう力を育む教育の推進」 保護者、生徒、教職員の75%以上が肯定的意見を示した。本校の努力目標である「指導法の工夫と主体的な学習態度の育成を図る」ことに加え、生徒一人一人が学びが実感できる手立てを検証していく必要がある。																																															
<table border="1"> <caption>Item 1: Rich heart and healthy body education</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th><th>わからない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>31%</td><td>56%</td><td>12%</td><td>1%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>児童生徒</td><td>55%</td><td>34%</td><td>8%</td><td>1%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>63%</td><td>35%</td><td>2%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Category		そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	31%	56%	12%	1%	0%	児童生徒	55%	34%	8%	1%	0%	教職員	63%	35%	2%	0%	0%	<table border="1"> <caption>Item 2: Self-learning and initiative education</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th><th>わからない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>23%</td><td>54%</td><td>18%</td><td>7%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>児童生徒</td><td>32%</td><td>43%</td><td>18%</td><td>7%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>23%</td><td>58%</td><td>12%</td><td>7%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	23%	54%	18%	7%	0%	児童生徒	32%	43%	18%	7%	0%	教職員	23%	58%	12%	7%
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	31%	56%	12%	1%	0%																																												
児童生徒	55%	34%	8%	1%	0%																																												
教職員	63%	35%	2%	0%	0%																																												
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	23%	54%	18%	7%	0%																																												
児童生徒	32%	43%	18%	7%	0%																																												
教職員	23%	58%	12%	7%	0%																																												
(1) 主体的に考え行動する力を育む教育の推進																																																	
3 社会の形成や持続的発展に主体的に貢献する力を育む教育の推進																																																	
学校は、学校生活や地域社会をよりよくするために考えたり、行動したりすることの育成に、取り組んでいると思いますか。(児童会・生徒会活動、学校のきまり見直し、地域のよさを伝えたり課題解決したりする取組、ナイスライ(中学校)など)		「3 社会の形成や持続的発展に主体的に貢献する力を育む教育の推進」 肯定的意見が保護者88%、教職員98%であるのに対し、生徒の回答が63%である。新旧生徒会執行部のメンバーに限らず、地域貢献活動への意欲・関心が高い生徒も多いので、生徒たちが保護者や地域の方々と意見交換をする場を設定するなど、生徒会活動や各学年の総合的な学習の時間での取組を系統立てて推進し、「主体性をもって活動する実践力のある生徒を育てる」という努力目標の達成に向けて取り組む必要がある。																																															
<table border="1"> <caption>Item 3: Social contribution education</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th><th>わからない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>32%</td><td>56%</td><td>12%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>児童生徒</td><td>26%</td><td>37%</td><td>22%</td><td>15%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>47%</td><td>51%</td><td>2%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Category		そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	32%	56%	12%	0%	0%	児童生徒	26%	37%	22%	15%	0%	教職員	47%	51%	2%	0%	0%																								
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	32%	56%	12%	0%	0%																																												
児童生徒	26%	37%	22%	15%	0%																																												
教職員	47%	51%	2%	0%	0%																																												
(2) こども一人一人を尊重した教育の推進																																																	
4 5 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実																																																	
学校は、こどもが、学習の方法やペースを自分で選んだり決めたりしながら学ぶ授業づくりを行っていると思いますか。	学校は、こどもが、対話などを通して、他の人の考えや意見を自分の学びに生かすような授業ができていると思いますか。	「4 5 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」 「4」について、生徒の肯定的意見が77%と一番高い。また、「5」について、肯定的意見が生徒82%、教職員93%と意識の差がうかがえる。今後も「生徒の主体的学習活動を促す指導の工夫」や「対話を支えるソーシャルスキルトレーニングの向上」、「学びをアウトプットする機会の確保」を意識した授業改善を推進し、生徒に自信を持たせ、保護者へは情報発信を継続して行っていく必要がある。																																															
<table border="1"> <caption>Item 4: Individualized and collaborative learning</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th><th>わからない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>16%</td><td>48%</td><td>13%</td><td>23%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>児童生徒</td><td>33%</td><td>44%</td><td>13%</td><td>10%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>26%</td><td>47%</td><td>16%</td><td>11%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Category		そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	16%	48%	13%	23%	0%	児童生徒	33%	44%	13%	10%	0%	教職員	26%	47%	16%	11%	0%	<table border="1"> <caption>Item 5: Learning through dialogue</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th><th>わからない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>20%</td><td>52%</td><td>13%</td><td>15%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>児童生徒</td><td>36%</td><td>46%</td><td>11%</td><td>7%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>33%</td><td>60%</td><td>7%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	20%	52%	13%	15%	0%	児童生徒	36%	46%	11%	7%	0%	教職員	33%	60%	7%	0%
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	16%	48%	13%	23%	0%																																												
児童生徒	33%	44%	13%	10%	0%																																												
教職員	26%	47%	16%	11%	0%																																												
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	20%	52%	13%	15%	0%																																												
児童生徒	36%	46%	11%	7%	0%																																												
教職員	33%	60%	7%	0%	0%																																												
(2) こども一人一人を尊重した教育の推進																																																	
6 特別支援教育をはじめとする多様な教育的ニーズに対応した支援の充実																																																	
学校には、こどもが助けを必要とするときに、先生や友達から支えてもらえる温かな雰囲気があると思いますか。	7 インクルーシブ教育の推進 学校では、こどもがそれぞれの違いを認め、お互いを尊重し合って共に学び合っていると思いますか。	「6 特別支援教育をはじめとする多様な教育的ニーズに対応した支援の充実」 肯定的意見が生徒87%、教職員96%であるのに対し、保護者の回答が75%である。生徒のニーズに応えるための教育相談等、保護者との連携をさらに深めていく必要がある。 「7 インクルーシブ教育の推進」 肯定的意見が生徒86%、教職員88%であるのに対し、保護者の回答が73%である。各教科の授業、道徳や学級活動等で共生社会の実現に向けた学びを全職員で共通実践していく取組を継続し、保護者への情報発信が必要である。																																															
<table border="1"> <caption>Item 6: Support for diverse needs</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th><th>わからない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>23%</td><td>52%</td><td>13%</td><td>12%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>児童生徒</td><td>51%</td><td>36%</td><td>6%</td><td>7%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>49%</td><td>47%</td><td>2%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Category		そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	23%	52%	13%	12%	0%	児童生徒	51%	36%	6%	7%	0%	教職員	49%	47%	2%	0%	0%	<table border="1"> <caption>Item 7: Inclusive education</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思う</th><th>どちらかといえば、そう思わない</th><th>そう思わない</th><th>わからない</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>17%</td><td>56%</td><td>13%</td><td>14%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>児童生徒</td><td>44%</td><td>42%</td><td>7%</td><td>7%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>21%</td><td>67%</td><td>9%</td><td>3%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない	保護者	17%	56%	13%	14%	0%	児童生徒	44%	42%	7%	7%	0%	教職員	21%	67%	9%	3%
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	23%	52%	13%	12%	0%																																												
児童生徒	51%	36%	6%	7%	0%																																												
教職員	49%	47%	2%	0%	0%																																												
Category	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	わからない																																												
保護者	17%	56%	13%	14%	0%																																												
児童生徒	44%	42%	7%	7%	0%																																												
教職員	21%	67%	9%	3%	0%																																												

(3) 最適な教育環境の整備																																		
8 安全・安心な園づくりの推進	9 地域や家庭と連携した教育環境の整備																																	
<p>学校は、こどもの安全を守る環境の整備を進めるとともに、安全教育（生活・交通・防災など）に取り組んでいると思いますか。</p>	<p>学校は、地域や家庭の人と協力して、授業や行事などの教育活動を進めていると思いますか。</p>	<p>「8 安全・安心な園づくりの推進」 肯定的意見が生徒90%、教職員98%であるのに対し、保護者の回答が79%である。自ら適切に判断行動できるための安全教育の推進に家庭・地域と連携強化をしていく必要がある。</p> <p>「9 地域や家庭と連携した教育環境の整備」 肯定的意見が生徒80%、教職員91%であるのに対し、保護者の回答が76%である。本年度実施した地域と連携した緑化活動、地域人材を活用した取組を継続するために、今後も学校便りやHPでの情報発信していく必要がある。</p>																																
<table border="1"> <caption>Item 8: Safety and安心 environment</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>Yes</th><th>No</th><th>Other</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>23%</td><td>56%</td><td>7%</td></tr> <tr><td>児童生徒</td><td>55%</td><td>35%</td><td>5%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>42%</td><td>56%</td><td>2%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Yes	No	Other	保護者	23%	56%	7%	児童生徒	55%	35%	5%	教職員	42%	56%	2%	<table border="1"> <caption>Item 9: Collaboration with community and family</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>Yes</th><th>No</th><th>Other</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>21%</td><td>55%</td><td>7%</td></tr> <tr><td>児童生徒</td><td>39%</td><td>41%</td><td>12%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>33%</td><td>58%</td><td>9%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Yes	No	Other	保護者	21%	55%	7%	児童生徒	39%	41%	12%	教職員	33%	58%	9%	
Category	Yes	No	Other																															
保護者	23%	56%	7%																															
児童生徒	55%	35%	5%																															
教職員	42%	56%	2%																															
Category	Yes	No	Other																															
保護者	21%	55%	7%																															
児童生徒	39%	41%	12%																															
教職員	33%	58%	9%																															

(4) こどものいのちと権利の擁護																		
10 こどもの最善の利益を守る環境づくり																		
<p>学校は、こどもの意見を反映させ、こどもの権利を守るとともに、こどもや保護者が相談しやすい学校づくりに取り組んでいると思いますか。</p>		<p>「10 こどもの最善の利益を守る環境づくり」 肯定的意見が生徒79%、教職員93%であるのに対し、保護者の回答が68%である。本年度、学校行事（体育大会・錦文化の日）実行委員会、校則検討委員会、学校保健委員会などで生徒と保護者、地域の方々の意見交換が活発に行われたことを継続していく必要がある。また、教育相談やSC、SSW等をつなぐための情報発信をさらに強化していく必要がある。</p>																
<table border="1"> <caption>Item 10: Best interests of children</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>Yes</th><th>No</th><th>Other</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>17%</td><td>51%</td><td>10%</td></tr> <tr><td>児童生徒</td><td>39%</td><td>40%</td><td>10%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>44%</td><td>49%</td><td>5%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Yes	No	Other	保護者	17%	51%	10%	児童生徒	39%	40%	10%	教職員	44%	49%	5%		
Category	Yes	No	Other															
保護者	17%	51%	10%															
児童生徒	39%	40%	10%															
教職員	44%	49%	5%															

独自項目																																		
挨拶	掃除																																	
<p>子どもは、自分から進んで挨拶をしていると思いますか。</p>	<p>子どもは、自分から進んで掃除をしていると思いますか。</p>	<p>「11挨拶」 前年との比較で保護者は2%減、生徒は1%増、教職員は8%増である。年度当初から生徒指導部を中心に朝からの声掛け等を行ったことで、生徒の変容がうかがえる。</p> <p>「12掃除」 前年との比較で保護者は同値、生徒は1%減、教職員は4%減である。無言掃除を称賛しつつ、今後も校内美化活動に向けての生徒の取組を支援していく必要がある。</p>																																
<table border="1"> <caption>Item 11: Greeting</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>Yes</th><th>No</th><th>Other</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>25%</td><td>47%</td><td>16%</td></tr> <tr><td>児童生徒</td><td>45%</td><td>42%</td><td>9%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>9%</td><td>40%</td><td>40%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Yes	No	Other	保護者	25%	47%	16%	児童生徒	45%	42%	9%	教職員	9%	40%	40%	<table border="1"> <caption>Item 12: Cleaning</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>Yes</th><th>No</th><th>Other</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>20%</td><td>46%</td><td>15%</td></tr> <tr><td>児童生徒</td><td>43%</td><td>40%</td><td>11%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>5%</td><td>47%</td><td>37%</td></tr> </tbody> </table>	Category	Yes	No	Other	保護者	20%	46%	15%	児童生徒	43%	40%	11%	教職員	5%	47%	37%	
Category	Yes	No	Other																															
保護者	25%	47%	16%																															
児童生徒	45%	42%	9%																															
教職員	9%	40%	40%																															
Category	Yes	No	Other																															
保護者	20%	46%	15%																															
児童生徒	43%	40%	11%																															
教職員	5%	47%	37%																															
服装	時間																																	
<p>子どもは、学校生活にふさわしい身なりで生活していると思いますか。</p>	<p>子どもは、時間を意識して生活していると思いますか。</p>	<p>「13服装」 前年との比較で保護者と生徒は同値、教職員は8%増である。季節に応じた適切な着こなしを実践する生徒の意識の向上が見られる。</p> <p>「14時間」 前年との比較で保護者は28%増、生徒は9%増、教職員は21%増である。「創立以来チャイムのない学校」を生徒と教職員が意識して取り組んでいる成果が見られる。</p>																																
<table border="1"> <caption>Item 13: Dress</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>Yes</th><th>No</th><th>Other</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>56%</td><td>40%</td><td></td></tr> <tr><td>児童生徒</td><td>61%</td><td>34%</td><td></td></tr> <tr><td>教職員</td><td>14%</td><td>79%</td><td></td></tr> </tbody> </table>	Category	Yes	No	Other	保護者	56%	40%		児童生徒	61%	34%		教職員	14%	79%		<table border="1"> <caption>Item 14: Time</caption> <thead> <tr><th>Category</th><th>Yes</th><th>No</th><th>Other</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>56%</td><td>40%</td><td></td></tr> <tr><td>児童生徒</td><td>61%</td><td>34%</td><td></td></tr> <tr><td>教職員</td><td>14%</td><td>79%</td><td></td></tr> </tbody> </table>	Category	Yes	No	Other	保護者	56%	40%		児童生徒	61%	34%		教職員	14%	79%		
Category	Yes	No	Other																															
保護者	56%	40%																																
児童生徒	61%	34%																																
教職員	14%	79%																																
Category	Yes	No	Other																															
保護者	56%	40%																																
児童生徒	61%	34%																																
教職員	14%	79%																																

来年度の具体的な取組について
<p>【主体的に考え行動する力を育む教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 心を育てる道徳教育の充実と体育の充実、適正な部活動による体力づくりと食育の推進のための取組を精選し、家庭や地域、関係機関と連携した実践を年間を見通して教育課程に位置付ける。 自己指導能力の育成とともに、ICTも活用し生徒の意欲・関心を高め、各教科の授業や特別活動において生徒が主体的に取り組む体験的学習をさらに充実させる。 <p>【こども一人ひとりを尊重した教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒指導部や校内支援委員会での実態把握と迅速かつ適切な対応を行い、いじめや不登校の未然防止、SC・SSWを交えた教育相談等の充実を図り、全職員による支援体制を強化する。 校内研修を通して「錦タイム」を基盤とした話し合い活動の更なる向上を図った授業改善を通して、学力の向上とより良い人間関係づくりを全職員で取り組む。 <p>【最適な教育環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動や学校行事、ボランティア活動において保護者や地域人材、学校評議員等と連携した生徒の自主活動の促進を図る。 学校保健委員会や校区ネットワーク会議等で関係機関と連携し、登下校時の安全確保、生徒の危険を予知し、自ら適切に行動するための安全教育の充実を図る。 <p>【こどものいのちと権利の擁護】</p> <ul style="list-style-type: none"> こども基本法に則り、家庭訪問や教育相談、KIZUNAアンケート等を通して生徒や保護者の思いを共有し、関係機関と密接に連携して迅速に対応する体制を確立する。 授業や生徒会活動における教職員と生徒の意見交換の活性化と放課後自習教室の更なる充実を図る。

小中学校関係者評価
<p>【主体的に考え行動する力を育む教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> どの設問も肯定的な回答が多いこと、素晴らしいと思う。先生方のチームワークと日々の生徒や保護者との関わりの表れだと感じる。 「3」について、生徒の肯定的な回答が大人のものより若干低めに出ているが、考察にある「新旧生徒会執行部メンバーに限らず、地域貢献活動への意欲・関心が高い生徒も多い」とあるのが、とても素晴らしい、今後の楽しみである。 秋の錦ヶ丘文化祭を見させていただき、生徒たちが自分たちで文化祭に取り組み、皆さんの前で発表する姿を見せていただいた。先生方も一緒になり会場が盛り上がったことは大変印象的だった。このようなことから生徒たちの主体的に行動する力は育まれていると思う。

・不登校の生徒たちの話も他校の事も聞いた。色々な個人的な原因があると思うが、小学校からの学力の積み重ねが一つの原因と思う。OBの先生方の力を借りて学習の補修クラスを作ると不登校の一部の子どもたちの悩みが少しでも解消できるのではないかと思う。

・令和4年、5年と比べると圧倒的に肯定率が上がっており、生徒、教職員ともに満足度が上がっているものと推測する。喜ばしく思う。

・先生方の姿勢が生徒たちを引っ張っていることが伺える。

・授業はもとより諸行事への生徒たちの意欲的な取組が行われていると思われる結果だと思う。定められたレールの上であっても、内容において主体的であってほしいものである。

【こども一人ひとりを尊重した教育の推進】

・「4」についての肯定的回答が先生方より生徒の方が高いこと、とても評価ができると思う。評議員としても嬉しい。

・「6」と「7」について、保護者の評価が低めに出ているのは、考察にある様に、情報発信の不足だと感じる。とはいえ、決して低い値ではなく、十分に評価できる結果である。

・生徒に大きな満足度があることがうかがえて素晴らしいと思う。保護者に見えていない部分もあると思うのでもう少し多く情報を発信できればよいと思う。

・一斉活動の中でも一人ひとりの能力に応じて指導することが大切だと思う。指導技術を問われるかもしれないが、指導者がその心がけを持つことが大切だと思う。

【最適な教育環境の整備】

・地域の老人会などの協力を得て花壇の花を植え潤いのある環境にするのも良いと思う。

・非常に良い環境であることがうかがえます。素晴らしいと思う。

・「あそぶじ」と認識しながら指導者も生徒も日頃からその実現を心がけておられると思う。その4点だけでも心の奥底にあることが大変良いことである。

【こどものいのちと権利の擁護】

・生徒たちが学校生活でクラブ活動の試合や合唱祭、文化祭などの発表などを行うことにより達成感を味わいそれが自己肯定感に繋がっていくと考える。そのことが自分を大切にしました他人のいのちを大切にすることに繋がると思う。

・「相談しやすい学校」ではないと思っている保護者と生徒が、深刻な問題を抱えていないことを祈っている。

・生徒、教職員に意識の高さがうかがえる数値かと思うが、保護者に対する発信を増やし、安心していただけるようになると幸いである。

・取り立てた事故等もなく本年度も終わろうとしていることは、兎にも角にも学校側、教師の水面下の努力があると思う。見えないところでの活動はありがたいものである。

【独自項目について】

・令和5年でも「挨拶・掃除」は生徒と教職員の認識の差があることが気になる。「服装・時間」についてはよくできていると思う。

・「挨拶、掃除、時間を守る」は生活の基本である。保護者、生徒との意識の差はあるものの、教師はふれずに取組を続けてほしい。

・先生方毎日お疲れ様です。

・どの項目も、先生方と生徒達との（求めている者と実行する者）ギャップが浮き彫りになっていて、興味深い。しかも、保護者と生徒はほぼ同回答である。

・昨秋にコンサートを実施するために校長先生はじめ担当の先生方にご協力をいただき感謝申し上げます。寒い中に生徒たちは静かに聴いている姿に感動した。終わりの校歌の全員合唱には感動し元気をもらった。今後もこのような芸術に触れる時間を作っていくことは思春期の生徒たちには必要だと思う。

【その他】

・生徒達が思いっきり、いろんなことにチャレンジしたり考えたり協同したり、と中学校生活を楽しくしている姿に触れさせていただいた。先生方の想いがしっかりと伝わっているからだと思う。

・家庭、地域を巻き込んでより良い体制づくりができることを願っている。学校任せでなく、地域全体で子育てをしているという意識を高く持つことが大事であると自分自身も思っている。

・先生方が元気に仕事ができることを願っている。

・教育現場を去り、日本や世界の情勢や現状に目をやる機会が多くなった。環境問題、政治、その他よくない方向に進んでいることが危惧される。教師の役目が改めて考えさせられる時だと思われる。卑怯さずさがなく正義感の強い人間の育成になお一層のご尽力を賜りたい。